



優勝した渡瀬Bチーム[写真提供：渡辺勝次郎さん(木之根)]

村ゲートボール協会主催の「第四回村長杯争奪ゲートボール大会」は十月十五日、村青少年広場で行われました。大会には、同協会七支部から十五チームが出場。予選リーグ、決勝トーナメントで熱戦が繰り広げられ、渡瀬Bチームが見事優勝を果たしました。成績は次のとおりです。

▼優勝Ⅱ渡瀬B ▼準優勝Ⅱ西山A
▼三位Ⅱ西野B、中野A

6 NEWS

渡瀬Bチームが熱戦制す 第4回村長杯争奪ゲートボール大会



大戸岳山頂で

村内の登山愛好家で組織する「YAMA大好き苦楽部」(本郷弘義会長)は、今年度第五回目の登山として十月二十四日、会津若松市の「大戸岳」(標高一四一六メートル)に登りました。会員7人が参加。山は既に紅葉が始まり、山頂から中腹にかけての展望は素晴らしく、ブナ林の黄葉に圧倒されながら、全員が眺望を満喫し登山を楽しみました。(記事・写真提供：YAMA大好き苦楽部)

7 NEWS

登山を通して親睦深める YAMA大好き苦楽部が大戸岳登山



縁日など多彩な店がならびました

修明高等学校鮫川校の文化祭「山峡祭」は十一月六日、「夢にときめけ・明日にきらめけ・目指せ楽しい山峡祭」をテーマに開催されました。文芸部などの作品展示や手芸体験、その他生徒による食堂やカフェ、縁日などが出店され、多くの地域住民で賑わいました。また、ミラクルマジックの芸術鑑賞や合唱部の「翼をください」も披露され、楽しいひとときを過ごしました。

4 NEWS

日頃の学習の成果を一般公開 修明高校鮫川校で山峡祭を開催



上…鮫川小のさめっ子フェスティバル/下…青生野小の学習発表会



献立は村の特産品を材料とした、ご飯、カボチャと米粉を使った「かぼちすいとん汁」、じゅうねん卵入りサラダ、豚肉のから揚げ大豆ソースがけ、ミニトマト、牛乳

地元の食材を使っておいしきや栄養価などを競う第五回全国学校給食甲子園に、鮫川村学校給食センターが北海道・東北ブロック代表として二年連続で出場します。大会には、全国から千八百十七の学校給食調理場が参加。書類選考を通過した全国六ブロック代表計十二チームが大会に挑みます。決勝大会は十一月十一日、十二日の二日間、東京都の女子栄養大学で行われ、地場産物たっぷりの給食で、日本一を目指します。

3 NEWS

学校給食「日本一」を目指す 第5回全国学校給食甲子園出場決定



大豆を収穫する学生ら

東京農業大学の食農体験は十一月六日、七日の二日間、江竜田内の畑で行われました。村特産の大豆を栽培から収穫、加工までを体験し、農と食について学ぼうと同大学の学生二十五人が参加。六月にまいた大豆を収穫しました。また、菌床シイタケ農家の視察やこんにゃくづくり体験、紅葉の強滝を散策しました。今月末には、収穫した大豆で豆腐や味噌を作る予定です。

1 NEWS

日頃の学習の成果を発表 二つの小学校で学習発表会を開催

村内二つの小学校の学習発表会が開かれ、子どもたちが日頃の学習の成果を一生懸命発表しました。鮫川小の学習発表会「さめっ子フェスティバル」は十月二十四日、同校体育館で行われました。オープニングセレモニーでは、二年生による「みこし」が行われました。合唱部の発表や学年ごとにさまざまな分野で学習した成果を元気に発表しました。青生野小の学習発表会は、「青生野小学校創立百一十周年記念行事」として十一月七日に行われました。学年ごとに授業で学習した劇や青生野小に新たな歴史を刻む和風ミュージカル、青生野小の歴史を振り返った作文を発表しました。また、郡音楽祭で発表した「小さな世界」なども披露。その後全員で「まっかな秋」を合唱しました。訪れた人たちは、子どもたちの発表に熱心に耳を傾けていました。

2 NEWS

実った大豆を収穫 東京農業大学・食農体験実習